

読み聞かせと工作を組み合わせた発展型授業の取り組み

～THE WILD THINGS ARE かいじゅうたちのいるところ を創造性豊かにする～

去年2021年1月学校再開になってから取り組み始めた「読み聞かせと工作を組み合わせた発展型授業」は三匹のこぶたの絵本を三年生クラスからKG2にかけて行なったところ、子どもたちにも先生にも好評で、そうした中改めて感じたのが低学年層への教育を手厚くすることが大切という事でした。日々感じる子どもたちとの関わり方などふまえて今年度は「THE WILD THINGS ARE」の読み聞かせと工作の実践をすべく2月末までに3年生、4年生、2年生と行なってきました。現地語での説明が欲しく読み聞かせ時からガーナの先生の協力を得られたのは3年生のみとなり、ガーナの先生と一緒に授業を行なうという点からするとなかなか難しいものとなってしまいました。また私自身の読み聞かせもまだまだパーフェクトとは言えないもので、そうした中でも子どもたちを見ると物語に引き込まれていく様子がわかり、絵本を読んで聞かせる事は集中力、想像力、創造性が育まれるものだなと実感できました。2年生で読んだ時の事、マックがかいじゅうたちのいるところに着いた時に最初に出会ったかいじゅうを見て「わぁー、ドラゴン」と目を輝かせた子どもがいました。かいじゅうがたくさん出てくるページになると顔を伏せるもまた再び顔をあげてにっこりする子どももいました。読み聞かせであっても私の場合、小芝居が入ってしまいます。正しい読み聞かせがわからないでいるけれど、子どもたちが楽しんでくれるなら私は私の読み聞かせのやり方で良いと思いました。今回、読み聞かせ後の工作は、かいじゅうをイメージして茶紙の袋でパペット作りと、ビー玉を重り代わりにしてゆらゆら揺れるかいじゅうを作りました。紙袋を使ったパペット作りは1年生から3年生、風船とビー玉を使った工作は4年生5年生です。KGクラスでは紙皿を使ってかいじゅうのお面を作る予定でいます。学年によって工作の目当てを変えています。1学期は4月中旬までなので、まだ廻っていないクラスで「THE WILD THINGS ARE」の読み聞かせをし、2学期はまた違う絵本の読み聞かせと工作をしていきます。 (ガーナ挨拶 No 44) 28/02/2022

國分敏子

